======================================================================

\*\* 日本学術会議ニュース・メール　\*\* No.694 \*\*  2019/11/1

======================================================================

1. 【開催案内】日本学術会議中国・四国地区会議学術講演会

　　「SDGs（持続可能な開発目標）の実現に向けた地域研究と

　　　イノベーション研究」

2. 【開催案内】公開シンポジウム「科学的知見の創出に資する可視化(3)：

　  新しい文理融合研究を創出する可視化」

3. 日本学術会議主催学術フォーラム　企画案の募集について

■----------------------------------------------------------------------

【開催案内】日本学術会議中国・四国地区会議学術講演会

　「SDGs（持続可能な開発目標）の実現に向けた地域研究と

　イノベーション研究」

----------------------------------------------------------------------■

Sustainable Development Goals（SDGs）は、持続可能な世界を実現するための

17のゴール・169のターゲットから構成されます。

SDGsの達成において、大学の役割は大きく、山口大学では、

「先進科学・イノベーション研究センター」を設置し、21世紀の課題を解決する

異分野融合の先進科学を創成し、地域発科学技術イノベーションを牽引する応用

研究を推進しています。

また、地域にも目も向け、山口学研究プロジェクトを立ち上げ、地域の歴史、

風土、文化を知り未来に活かす研究も推進しています。これら特徴的な研究を紹介

することで、SDGsの達成に向けた地方大学の役割について考えます。

〇主催　日本学術会議中国・四国地区会議、山口大学

〇日時　2019年11月16日（ 土 ）13:45 〜 17:30

〇場所　山口大学大学会館大ホール

　　　（山口市吉田1677-1 山口大学吉田キャンパス内）

〇プログラム

<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/280-s-1116.pdf>

〇事前申込み：不要

〇お問合せ先

　山口大学　荊木康臣

　ibaraki\*[yamaguchi-u.ac.jp](http://yamaguchi-u.ac.jp/)

（上記mailアドレスの＊マークを＠に変えてお送りください。）

■--------------------------------------------------------------------

【開催案内】公開シンポジウム「科学的知見の創出に資する可視化(3)：

　新しい文理融合研究を創出する可視化」

---------------------------------------------------------------------■

　12月15日に，立命館大学・大阪いばらきキャンパスで，日本学術会議公開シン

ポジウム「科学的知見の創出に資する可視化(3)：新しい文理融合研究を創出する可

視化」が行われます。日本学術会議に可視化をテーマとする分科会が設立された

ことに応じたシンポジウムの第3回です。可視化という研究分野を，ビッグデー

タを扱う文理融合型研究の時代を見据えて，大胆にリスタラクチャリングする可

能性を探ります。入場無料，事前申し込み不要です。ご興味をお持ちの方は奮っ

てご参加ください。

○主催: 日本学術会議 総合工学委員会科学的知見の創出資する可視化分科会

○日時: 2019年12月15日（日） 13:00〜16:00

○場所: 立命館大学・大阪いばらきキャンパス

　　　　　いばらきフューチャープラザ／B棟１Fカンファレンスホール

<http://www.ritsumei.ac.jp/futureplaza/access/>

○参加費: 無料、

○事前申し込み：不要

＊当日はお名刺をご用意ください．

○その他：情報処理学会・人文社会とコンピュータシンポジウム2019との連携開催

開催趣旨：

　現代の科学研究においては，人文科学と自然科学の別なく情報科学の恩恵を利

用せざるを得ない．実際，人文科学で解析対象とする新たな種類のデータ，例え

ば，デジタル保存された文化財のデータや社会状況を分析するためのSNS上のつ

ぶやきのデータの解析では，高性能計算機とインターネットがフル活用されてい

る．これは，単に便利だからそうするのでは無い．解析対象となるデータが，計

算機で解析せざるを得ないような，大規模かつ多様・複雑なものとなることが多

いからである．このような時代においては，情報科学を中核とした，新たな文理

融合研究の創出が必須である．本シンポジウムでは，情報科学の中でも特に「可

視化」に焦点を当て，新しい文理融合研究を創出する可能性を探りたい．

プログラム、問合せ先につきましては、以下をご参照ください。

<https://stanaka4.wixsite.com/jscsymp191215>

■----------------------------------------------------------------------

日本学術会議主催学術フォーラム　企画案の募集について

—----------------------------------------------------------------------■

会員、連携会員の皆様へ

現在、日本学術会議主催学術フォーラムの企画案を募集しています。

関心のある方は以下をご確認いただき、手続きの上、お申込みください。

令和２年度第１四半期募集分

　開催予定時期　　　：令和２年４〜６月

　申込み締切　　　　：令和元年１１月２９日（金）

・必要書類・手続き等：以下のＵＲＬをご確認ください。

<http://www.scj.go.jp/ja/scj/kisoku/106.pdf>

★-------------------------------------------------------------------☆

　日本学術会議では、Twitterを用いて情報を発信しております。

　　　　　　 　　　アカウントは、@scj\_info　です。

　　　　　　 　日本学術会議広報のTwitterのページはこちらから

<http://krs.bz/scj/c?c=406&m=44604&v=ff94e41b>

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

　　　　　　 学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://krs.bz/scj/c?c=407&m=44604&v=5a1f7415>

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

=======================================================================

　日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等へ

の転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読み

いただけるようにお取り計らいください。

【本メールに関するお問い合わせ】

　本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

　本メールに関するお問い合わせは、下記のURLに連絡先の記載がありますの

で、そちらからお願いいたします。

=======================================================================

　発行：日本学術会議事務局　<http://krs.bz/scj/c?c=408&m=44604&v=b8441b0a>

　　　 　〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34